

『漢詩を読む～李白・杜甫・韓愈・白楽天など～』

講師 福岡女子大学名誉教授 疋田 啓佑 先生

「国破れて山河在り・・・」杜甫の有名な漢詩「春望」の一節です。
『漢詩』は後漢時代に確立した中国の国家芸術としての詩のことで、唐や宋の時代に最盛期を迎えました。日本でも8世紀には漢詩が作られるようになり、漢詩集が編纂されるまでになりました。

講座日	講座テーマ
第一回 令和2年 4月21日(火) 13:30～15:30	『詩経』・『楚辞』 『詩経』は中国最古の詩篇。西周時代の民謡や廟歌を孔子が編集したとされる。 『楚辞』は中国、戦国時代の楚に起った韻文学およびその系統を集めた歌謡集。
第二回 6月16日(火) 13:30～15:30	『文選』(詩篇) 中国の詩文集。梁の昭明太子の編。6世紀前半に成立。周代から梁まで約千年間の作品撰集。文人の必読書。日本でも飛鳥、奈良時代以降、盛んに読まれた。
第三回 7月21日(火) 13:30～15:30	唐代(盛唐) 李白・杜甫 中国詩歌史上最高の2人と言われる李白と杜甫。唐が最も栄えたときに現れ、詩の黄金時代を築いた。松尾芭蕉をはじめ日本文学にも大きな影響を与えた。
第四回 9月15日(火) 13:30～15:30	唐代(中庸) 韓愈・白楽天(白居易) 韓愈・白楽天は唐中期を代表する文人・詩人。李白・杜甫と唐代の四大詩人と言われ「李杜韓白」と称された。
第五回 10月20日(火) 13:30～15:30	宋代 陸游・朱熹 陸游は南宋の代表的詩人で、范成大・尤袤・楊万里とともに南宋四大家のひとり。 朱熹は、中国南宋の儒学者。朱子と称され朱子学の創始者である。
第六回 11月17日(火) 13:30～15:30	明代 高啓・王陽明 高啓は明代初期の詩人。「吳中四傑」の一人。詩は明代を通じて第一ともいわれた。王陽明は陽明学のほか漢詩も有名で坂本龍馬、高杉晋作なども書している。

【会場】 福岡市立早良市民センター 第一会議室 814-0006 福岡市早良区百道2丁目2番1号
(変更の場合も有)

【後援】 福岡市

【アクセス】 ①地下鉄空港線「藤崎駅」 市民センター行エレベーター
②西鉄バス「藤崎バスターミナル」3F

【受講料】 4,000円(全6回) ※6回通しでのお申込みの方は後日郵便振込用紙をお送りします。
※1講座のみ受講の場合は700円。

【お申込】 下記欄に必要事項ご記入のうえ、FAX、郵送、メールにてお申込ください。

810-0004 福岡市中央区渡辺通2-1-82
一般財団法人 西日本文化協会 事業部 TEL 092-713-6451
FAX 092-761-6762
E-mail: matake@bunkakyokai.org

※このままFAXしてください。

令和2年度「漢詩を読む」 <<受講申し込書>> FAX 092-761-6762

ふりがな 氏名	電話番号	
	FAX	
住所	〒	受講方法(○をつける) 6講座通し ・ 1講座毎